希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100－8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災した皆さんやボランティア活動に役立つ情報などをお待ちしています。「さがしています」「がんばろう」「伝言板」への投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

さがしています

〈宮城県〉
☆気仙沼市西八幡町の菅野敏夫さん（50代くらい）へ　千葉県東金市の桜田寿美子さん（58）が消息を自宅（0475・58・5567）に求めています。2人は30年ほど前、千葉県八街市立八街中央中学の教諭でした。菅野さんは技術家庭を担当していました。現在も中学校教諭を続けているようです。「同僚の星秀光さんも心配しています。自宅に電話をしたりはがきを出しましたが、連絡がとれません」

☆石巻市中里2の中山くに子さん（80）へ　牡鹿半島南方の網地島（あじしま）にあった旧牡鹿町立網長小学校の教え子、小山（旧姓安海）千代子さん（65）が心配しています。ご主人の中山梅三さんも網長小、網長中の教諭でした。「電話に誰も出ません。自宅（022・252・1885）に連絡ください」

伝言板

▼ニートの若者に寮室提供　不登校やひきこもり、ニートの若者らの再出発支援をしているNPO法人ニュースタート事務局が、被災地でニート状態にあった若者に寮室（千葉県市川市）を無償で提供します。被災前から仕事や学業に就いておらず、ニート状態にある10～30代の若者で、ルールを守って共同生活ができ、就労訓練を希望する人を優先します。光熱費、食費も無料です。男性は2LDKに4人程度（相部屋）、女性は3LDKに2人程度。期間は6カ月。場所は東京メトロ東西線行徳駅下車12分です。

職場体験のほか、併設する「いちかわ若者サポートステーション」で、就業や進路の相談も受けます。事務局では「安心できる場所でゆっくりと生活を取り戻し、次のステップにつながるお手伝いをしたい」と話しています。問い合わせは事務局（047・307・3676）へ。

▼絵本作家、画家による直筆画の展示と販売　日本国際児童図書評議会と出版文化産業振興財団が「子どもたちへ〈あしたの本〉プロジェクト」を行います。画家の岡田嘉夫さん、詩人の谷川俊太郎さん、絵本作家の田島征三さんら102人のイラストや直筆メッセージ180点を展示販売します。

5月3～5日、東京・上野の東京国立博物館平成館小講堂で。7月末まで全国各地を巡回。入札形式で7月末の締め切りまで。

がんばろう

●一日も早い復旧、復興を祈っております。職場、町内会、個人、そして街頭募金をしていますが、これからも継続的に義援募金をしていきたいと思います＝秋田市、加藤俊美さん（64）

●ささやかですが、義援金に貧者の一灯を託しました。早く被災地の方々が心から楽しめる時が来るように祈っています＝新潟市中央区、森林勇さん

●阪神大震災で被災した私たち神戸の人間は、東日本大震災の被災地のことがとても気になっています。婦人会活動などで義援金を集めています。私たちの集めた義援金を上手に使ってほしいです。被災者の方々、気を強く持って生活苦を乗り越えてくださいね！＝神戸市灘区、秀石栄子さん（77）

●「希望に向かって」
あきらめないで　一歩ずつ一歩ずつ　進んでいこう　この道の先には希望という名の花が　必ず咲いているのだから　進めば進むほど　たくさんの希望の花が咲いて　明るい太陽の光が降りそそぐ　だから　もう少しもう少し　辛抱しよう　一歩ずつ一歩ずつ　進んでいこう＝兵庫県尼崎市武庫豊町、宮垣節子さん（57）

時に最高値をつけた人に販売します。売り上げは全額、被災地の子供の読書活動の支援に。作品は1日からウェブ（http://www.jbby.org）で公開します。

サポート情報
～～～東日本大震災～～～

28日現在

イベント

■映画

岩手、宮城、福島県で営業中の映画館。余震や節電のため、上映スケジュールの変更もある。

〈岩手県〉県内の全映画館が営業中。みやこシネマリーン（☎0193・64・5588）が被災地で無料上映会を予定。5月7日＝グリーンピア三陸みやこ（10時～「トイ・ストーリー3」）▽8日＝宮古市民総合体育館（10時～「トイ・ストーリー3」、13時～「男はつらいよ　寅次郎相合い傘」）

〈宮城県〉桜井薬局セントラルホール（☎022・263・7868）は29日に再開して「漫才ギャング」を上映。被災者応援企画として29、30日、5月1、3、4、5日は1回目（11時～13時25分）終了後に10分間の「お笑い生ライブ」がある。次の施設も営業中。ワーナー・マイカル・シネマズ新石巻（☎0225・92・0711▽ワーナー・マイカル・シネマズ名取エアリ（☎022・381・0708▽フォーラム仙台（☎022・728・7866▽チネ・ラヴィータ（☎022・299・5555）

〈福島県〉県内の全映画館が営業中。

■動植物園など

〈岩手県〉
盛岡市動物公園　9時～16時半、入園は15時半ごろまで。高校生以上500円。☎019・654・8266
岩手サファリパーク（藤沢町）　8～17時。中学生以上2500円、3歳から小学6年1500円。☎0191・63・5660

〈宮城県〉
仙台市野草園　9時～16時45分、入園は16時まで。高校生以上200円、小中学生50円。4日10～12時にさくらそうの育て方を学ぶ講習会、5日11～15時に工作教室や草木遊びなどをする野草園こどもの日を開催。無料。申し込みは不要。☎022・222・2324
仙台市八木山動物公園　9時～16時45分（5月3～5日は8時半に開園）、入園は16時まで。高校生以上400円、小中学生100円（小中学生は5日は無料）。☎022・229・0631
マリンピア松島水族館（松島町）　9～17時（土日祝は17時半まで）、入館は閉館の30分前まで。高校生以上1400円、小中学生700円。バックヤードツアー（11時～、先着15人）、アシカと握手（11時20分～）、おさかな餌付け体験（13時50分～、先着20人）、ペンギン餌付け体験（14時15分～）を8日まで開催。☎022・354・2020

〈福島県〉
東北サファリパーク（二本松市）　8～17時。中学生以上2600円、3歳から小学6年1600円。☎0243・24・2336
いなわしろ淡水魚館（猪苗代町）　9～17時。高校生以上300円、小中学生150円。☎0242・65・2841

〈茨城県〉
アクアワールド茨城県大洗水族館（大洗町）　9～17時、入館は16時まで。高校生以上1800円、小中学生900円、3歳以上の幼児300円。29日～5月5日に元気・笑顔プロジェクト第1弾を実施。29日9時50分～10時35分、14時20分～15時5分にさかなクントークショーとイルカのショー（先着順800人）を行うほか、海賊宝探しゲーム（29日～5月2日）や大洗グルメ屋台・茨城農産市場（5月3～5日）などを催す。☎029・267・5151

浦戸諸島・野々島。災害復興船で桟橋に着いた消石灰を一輪車に乗せ運ぶ女性たち。津波に遭った自宅の床下にまき、消毒すると話してくれた＝宮城県塩釜市で27日午前、小林努撮影

茨城県植物園（那珂市）　9時～16時半。5月2日は休園。5月8日まで無料。8日10時半から植物園ガイド、無料。☎029・295・2150

商業施設

ホームセンターの開店状況は以下の通り。営業時間の短縮もある。

サンデー　大船渡店を除く岩手、宮城、福島県の各店は通常営業中。

かんぶん　岩手、青森県の計10店舗で通常営業中。

スズトヨ　福島県南相馬市で営業中。8時～17時半。日祝は休み。

国分屋金物店　岩手県二戸市で営業中。9～19時。

ケーヨー　宮城、福島県の計10店舗で通常営業中。

ホーマック　岩手県の久慈、大槌、宮城県の石巻、気仙沼など東北沿岸店舗の一部以外は通常営業中。

コメリ　宮城県栗原市などの3店舗と福島県南相馬市などの9店舗を除き、通常営業中。

ダイユーエイト　福島県の富岡、小高、矢吹の3店以外は通常営業中。

ビバホーム　宮城県内4店舗と福島県内6店舗は通常営業中。

労働・雇用

■就職説明会

東京都などは5月24、26日、都内での就職を希望する被災者、避難者向けの合同就職説明会を開く。3の22の10の国分寺市南町3の22の10の国分寺労政会館4階▽26日＝港区海岸1の7の8の都立産業貿易センター浜松町館3階。いずれも13時半～16時。それぞれ20～30社がブースを設け、業務内容を説明する。求人はすべて都内を勤務地とする。期間に定めのない一般採用のほか、寮設備や住居手当のある求人、軽作業の短期雇用など、被災や避難生活の状況に応じた働き方に対応する。事前申し込み不要。問い合わせは都内の各ハローワークへ。

■相談

東京都労働相談情報センター（☎03・3265・6110）は震災絡みの労使トラブルや就職活動などに対応する特別街頭労働相談を実施する。相談員は労働基準監督署職員、公共職業安定所職員ら。予定は次の通り。

5月11日11～15時、大田区役所1階ロビー▽12日11～15時、JR池袋駅西口東武ホープセンター地下1階、小田急町田駅カリヨン広場▽13日11時半～15時半、コピス吉祥寺▽19日12時～15時半、松坂屋上野店南館前▽25日12～17時、新宿駅西口イベントコーナー

入浴

営業時間、料金は特別態勢の場合が多く、急な休業や閉店時間の繰り上げもある。

〈岩手県〉
恵比寿湯＝久慈市八日町2（☎0194・52・3383）▽新山根温泉べっぴんの湯＝同市山根町下戸鎖4（☎0194・57・2222）▽健康ランド古墳ノ湯＝同市長内町35（☎0194・61・3232）▽湯ったり館＝宮古市茂市8（☎0193・72・3800）▽田の神湯＝同市田の神2（☎0193・62・7771）▽旭湯＝同市西町1（☎0193・62・4668）▽花の湯＝釜石市野田町1（☎0193・25・0268）▽ホテルシーガリアマリン＝同市平田3（☎0193・26・5111）▽五葉温泉＝大船渡市日頃市町赤坂西風山（☎0192・22・5400）▽遊林ランド種山＝住田町世田米子飼沢（☎0197・38・2323）▽霊泉玉乃湯＝陸前高田市竹駒町上壺（☎0192・55・6866）

〈宮城県〉
喜代の湯＝仙台市宮城野区小田原1（☎022・256・5749）▽かしわ湯＝同市青葉区一番町1（☎022・222・3673）▽ホテルモントレ仙台＝同市青葉区中央4（☎022・265・7110）▽鶴の湯＝同市太白区長町4（☎022・244・8308）▽道の駅・上品の郷＝石巻市小船越二子北下（☎0225・62・3670）▽友の湯＝気仙沼市古町1（☎0226・22・2581）▽芭蕉の湯いやしの館＝松島町松島石田沢（☎022・355・3815）▽ホテル松島大観荘＝同町松島犬田（☎022・354・2161）▽花ごころの湯新富亭＝同町松島垣ノ内（☎022・354・5377）▽極楽湯名取店＝名取市田高原（☎022・383・1126）

〈福島県〉
極楽湯福島店＝福島市栄町1（☎024・534・0026）▽飯坂温泉（福島市）の共同浴場は8カ所が営業中＝飯坂温泉観光協会（☎024・542・4241）▽ゆ処高見＝南相馬市原町区高見町2（☎024・442・4241・24・5968）▽湯多利亭＝同市原町区南町3（☎024・4108）▽極楽湯福島いわき店＝いわき市葉山2（☎0246・76・1926）▽吉野谷鉱泉＝同市平吉野谷南作（☎0246・28・3288）▽尼子湯＝同市平堂ノ前（☎024・46・23・3002）▽いわき健康センター＝同市小浜町中ノ作（☎090・4046・4126）▽いわき湯本温泉の日帰り温泉＝いわき湯本温泉旅館協同組合（☎0246・43・3017）（旅館6軒が日帰り入浴可。公衆浴場「みゆきの湯」「さはこの湯」も営業）

〈茨城県〉
中郷温泉通りゃんせ＝北茨城市中郷町日棚（☎0293・44・0026）▽大魚の宿まるみつ＝同市平潟町（☎0293・46・0569）▽鹿島セントラル天然温泉ゆの華＝神栖市大野原4（☎0299・90・0261）▽潮来ヘルスランドさくら＝潮来市島須（☎0299・64・5858（断水で入浴できない市民は5月8日まで無料。氏名と住所が確認できる物を持参する）

給付・貸付

■義援金

岩手、宮城、福島3県の一部市町村が受給申請の受け付けを始めた。罹災（りさい）証明書の他に預金通帳や印鑑、本人確認が可能な書類などが必要（自治体によって違う）。受け付け中、または開始予定の主な自治体と申請場所は次の通り。

〈岩手県〉
◆野田村　住民福祉課で受け付け中。
◆宮古市　29日＝グリーンピア三陸みやこ、田老総合事務所、重茂漁協▽30日＝花輪農村文化伝承館、磯鶏小、河南中▽5月1日＝宮古小、山口小、藤原小▽2日＝金浜老人福祉センター、宮古市民総合体育館シーアリーナ、愛宕小（いずれも13～18時）。3日以降は市役所1階が窓口になる。
◆大船渡市　29日＝大船渡北小体育館、末崎ふるさとセンター、崎浜公民館▽30日＝大船渡北小体育館、末崎ふるさとセンター、宮野多目的集会施設▽5月1日＝大船渡中体育館など▽2日＝下船渡公民館など▽3日＝南笹崎公民館など▽4日＝赤崎中井公民館（いずれも9時半～15時）。市役所は4日から受け付け。

〈宮城県〉
◆仙台市　市役所本庁舎と各区役所、宮城総合支所、六郷市民センター、七郷市民センターで受け付け中。9時～16時半。5月までは土日祝日も対応する。4月29、30日、5月1日のみ宮城野体育館、岡田小でも受け付ける。郵送での申請は、市社会課義援金担当へ。
◆岩沼市　5月15日まで、市役所6階第1会議室で受け付ける。
◆大崎市　社会福祉課、または各総合支所保健福祉課で5月9日から受け付け予定。平日のみ。

〈福島県〉
移転した住民が多く、自治体の窓口のほか、郵送での申請も受け付けている。申請書は郵送での取り寄せや、自治体のウェブサイトからのダウンロードもできる。
◆南相馬市　原町三小体育館で10～15時。2日まで◆相馬市　市役所分庁舎1階社会福祉課で8時半～17時◆いわき市　各地区保健福祉センターか各支所で9～17時◆広野町　町役場湯本支所で8～18時◆楢葉町　各避難所で受け付け。町外に自主避難中の被災者は災害対策本部（☎0120・336・466）へ◆川内村　ビッグパレットふくしまCホールで9～17時◆大熊町　郵送などで受け付け◆双葉町　郵送などで受け付け◆浪江町　二本松市役所東和支所の仮町役場災害給付班で8時半～17時

その他

■大手予備校

大手予備校の河合塾（仙台校☎0120・198・267）、代々木ゼミナール（仙台校☎0120・84・4305）、駿台予備学校（仙台校☎0120・51・2418）は、被災した受験生のための支援制度を設けている。保護者が死亡したり、自宅が全半壊した場合に、入学金・授業料や寮費の全額か一部を免除する。

いずれも、首都圏など避難先の各校でも受け入れ可能。

電話帳

●行方不明者相談ダイヤル
岩手県警　0120・801・471
宮城県警　022・221・2000（9～19時）
福島県警　0120・510・186（9～19時）

●交通機関
JR東日本　050・2016・1600（6～24時）
JAL（国内線）　0570・025・071（7～20時）
ANA（国内線）　0570・029・222

●通信・ライフライン
NTT災害用伝言ダイヤル　171
日本郵便　0120・2328・86（平日8～22時、土日祝9～22時）
東北電力　0120・175・366

●医療
＜放射線被ばく相談＞
文部科学省健康相談ホットライン　0120・755・199（9～21時）
放射線医学総合研究所相談窓口　043・290・4003（9～21時）
＜人工透析＞
岩手県　県健康国保課　019・629・5471
宮城県　仙台社会保険病院　022・275・3111（かかりつけ医が対応していない場合のみ）
福島県　県地域医療課窓口　024・521・7221

＜その他＞
日本医師会　03・3946・2121
日本糖尿病協会　0120・151・721（平日9～18時）
被災がん患者ホットライン（国立がん研究センター）
紹介状あり＝03・3547・5130（平日10～16時）
紹介状なし＝03・3547・5293（平日9～18時）
てんかん支援ホットライン　054・245・5446
アレルギー支援ネットワーク　052・485・5208

●生活支援
日弁連電話相談　0120・366・556（平日10～15時）
岩手弁護士会　0120・755・745（13～16時）
仙台弁護士会　0120・216・151（10～16時）
福島県弁護士会　024・534・1211（平日14～16時）
日本司法書士会連合会　0120・445・528（平日10～16時）
あしなが育英会　被災者専用　0120・77・8565（遺児らに特別奨学一時金を支給）
心の相談緊急電話　0120・111・916（13～22時。日本臨床心理士会など）
チャイルドライン0120・99・7777（月～土16～21時）（18歳までの子ども向け電話相談）
震災関連の悪質商法110番　0120・214・888（10～16時。国民生活センター。岩手、宮城、福島、茨城4県対象）

＜視聴覚障害者向け＞
「全日本ろうあ連盟」や「全国盲ろう者協会」がウェブサイトで支援情報などを提供。

●省庁　※平日のみ
住宅の補修・再建（国交省）0120・330・712（月～土）
行政相談（東北管区行政評価局）0120・511・556
（茨城行政評価事務所）0120・188・571
金融相談（東北財務局）　022・721・7078
中小企業相談（経産省）　0570・064・350
農林水産業の被害相談（農水省）0120・355・567
年金の相談（日本年金機構）　0120・707・118※

●金融機関など
岩手銀行　0120・131・344（土日祝のみ）
七十七銀行　0120・78・1177
東邦銀行　0120・104・157
みずほ銀行　0120・3242・86
三井住友銀行　0120・11・5866
三菱東京UFJ銀行0120・818・130
ゆうちょ銀行　0120・108・420
東北労働金庫　0120・877・562
住宅金融支援機構　0120・086・353
日本政策金融公庫0120・154・505（土日0120・220・353）
そんがいほけん相談室（日本損保協会）　0120・107・808または03・3255・1306

■移転した役所と連絡先■

＜岩手県＞
陸前高田市　エコタウン鳴石　0192・59・2111
釜石市　シープラザ釜石　0193・22・8253
大槌町　大槌小学校　0193・42・2111

＜宮城県＞
女川町　女川第二小学校　0225・54・3131
南三陸町　町総合体育館ベイサイドアリーナ　0226・46・2600

＜福島県＞
広野町　FDKモジュールシステムテクノロジーいわき工場　0246・43・1331
楢葉町　会津美里町本郷庁舎　0242・56・2155
富岡町　郡山・ビッグパレット　0120・336・466
川内村　郡山・ビッグパレット　024・946・8828
大熊町　会津若松市追手町第2庁舎　0242・26・3844
双葉町　旧埼玉県立騎西高校　0480・73・6880
浪江町　二本松市東和支所　0243・46・4731
葛尾村　会津坂下町・川西公民館　0242・83・2651

★双葉郡支援センター　0120・006・865
福島県双葉郡の上記8町村から避難した住民に連絡を呼び掛けている。8～22時。

希望新聞

声 被災地から

岩手

避難所になっている大船渡市盛町の公民館「カメリアホール」の千葉勝也館長(64)「体操の指導者を呼んだり、みんなで歌ったりして、できるだけ心地よく過ごせることを第一に運営しています。『前向きに頑張っていこう』という気持ちは感じますが、やはりみなさん疲れているので、一日でも早く仮設住宅ができることを願っています」

千葉勝也さん

大槌町大槌の空き店舗で営業する地場スーパー「マイヤ」の出張所長、千葉利之さん(48)「町内の店舗が震災で壊れて使えなくなり、3月29日からここで営業を続けています。お客さまからは食料品や生活用品の要望が多いので、釜石市の店から運んでいます。元の店舗で復興できるよう、地元の皆さんとともに頑張ります」

出張販売の店に立つ千葉利之さん

山田町の県立山田高ボート部3年、鳥居孝江さん(17)と同校2年、佐藤美奈子さん(16)「家は津波の被害に遭って基礎しかない状態になりましたが、家族は避難して無事でした。普段、海で部活の練習をしていたので海の近くの倉庫にボートやオールを置いていました。泥にまみれて真っ二つに折れているものもありショックでした。無事だった道具の泥を洗って、29日からの盛岡遠征に備えています。部活は1カ月ぶりなので練習できるのは楽しみです」

オールを干す鳥居孝江さん（左）と佐藤美奈子さん

宮城

女川町総合運動場に娘の優愛（ゆめ）ちゃん(3)を連れて支援物資を受け取りに来た阿部三紀さん(34)「津波は自宅の近くまで来ましたが、ギリギリで止まりました。おかげで自宅で暮らせていますが、この子はまだ怖いようで地震が来ると泣いてしまいます。早く余震がおさまってほしい」

阿部優愛ちゃん（左）と母三紀さん

石巻市の飲食店「たこ焼くるるん」店長の伊東健則さん(36)と母千恵子さん(63)「津波で店も約1メートル浸水し、冷蔵庫もひっくり返りました。冷蔵庫を友人が譲ってくれたおかげで18日に営業再開できました。ガスが復旧しないので、鉄板が使えずホットプレートでたこ焼きを作っています」

ホットプレートでたこ焼きを作る伊東健則さん（右）と母千恵子さん

「お客さんや友人に支えられています」

山元町山寺の町立山下中で、手作りバッグを子どもたちに配る名取市の携帯小説家、斉藤亜紀子さん(35)「インターネットで全国の読者に手作りバッグを送ってもらうよう呼びかけ、50個ほど集まりました。文房具やお菓子を入れて子どもたちに配っています。全国の人たちが支えています。子どもたちには優しい気持ちになってほしい」

文房具やお菓子を入れた手作りバッグを子どもたちに配る斉藤亜紀子さん（左）

福島

「早く戻りたい」

浪江町から川俣町のおじまふるさと交流館に避難した根本和枝さん(46)「地震が起きたときは自宅前の道路が渋滞し、車を出すことができませんでした。着の身着のまま出てきたのですが、こんなに避難生活が長くなると思いませんでした。仮設住宅を申し込んでいますが、優先順位があるので当たるかわかりません。元の生活に戻ることを望んでいます」

（右から）根本和枝さん、長女成実さん、夫昭義さん

福島市のあづま総合運動公園体育館で長男と2人で避難生活をする葛尾村の農業、八橋実さん(87)「足腰が弱っている88歳の妻を避難所近くの老人ホームに受け入れてもらい、面会に通っています。私は体がなまらないよう毎朝周辺を散歩し、体操をしています。早く家に戻り、田んぼや畑を耕したい」

八橋実さん

同体育館でボランティア活動をする福島市南矢野目の佐々木駿輔さん(19)「避難所生活を送る子どもたちは楽しいことを一生懸命見つけようとしています。子どもを抱き上げ『高い高い』をしたり、話し相手になったりしています。自然体で子どもに接すると相手も同じように接して慕ってくれます。子どもの笑顔が一番のエネルギーです」

似顔絵のモデルをしながら女の子の話し相手をする佐々木駿輔さん（左）

ゴルフ場を「復興村」に

遠くの被災地より

東日本大震災の被災地を2度訪れました。仮設住宅の建設地選定に悩んでおられる姿を見て、近隣にあるゴルフ場を3～5年間の「復興村」にできないだろうかと考えました。ゴルフ場は宮城県内だけで約40カ所、公設のものもあります。インフラが整い、何よりも安全な高台に広大な面積を有しています。

阪神大震災では、仮設住宅入居の際に、既存のコミュニティーを維持できなかったことが課題になりました。広い「復興村」なら、その教訓を生かすことができると思います。コミュニティーを壊さないよう多くの仮設住宅を建て、仮設診療所や仮設学校、仮設商店街、市町村の支所もつくるのです。

阪神大震災からの復興に尽力
齋藤富雄さん(66)
＝神戸市中央区、元兵庫県副知事

乗り越えるべきハードルもあります。例えば、最も用地確保に困っている宮城県南三陸町や女川町内にはゴルフ場がなく、町外のゴルフ場を利用するしかありません。阪神大震災では、被災地外の仮設住宅の管理は所在地の市町、入居者へのサービスは従前の市町などと三元の対応になりました。これについては「復興村」を従前の市町村の飛び地と認める特例を設けて、つながりを絶たないようにすべきだと考えます。ゴルフ場経営者などの協力も必要ですが、今被災地でゴルフを楽しむ人は少ないのではないでしょうか。

被災者の避難生活の現状をみると、仮設住宅の建設には一刻の猶予もありません。これ以上の犠牲者を出さないためにも、常識にとらわれない思い切った施策で難局を脱してほしいと願っています。

【聞き手・小園長治】

Q 生ごみを保管するには？ A 水分を飛ばし風通しの良い入れ物で

NPO法人「生ごみリサイクル全国ネットワーク」（東京都中央区）に聞きました。

生ごみが臭くなる理由は、水分を含んだままポリ袋に密閉することで、嫌気性の細菌が活動するからです。できるだけ水分をふき取ったり、しっかりと水切りをして乾燥させましょう。新聞紙に包んで、通気性のある段ボール箱や洗濯かごなどに入れて、風通しのよいところに置けば臭くなりません。

焼却炉で燃やすにしても、生ごみの水分を蒸発させるには多くのエネルギーが必要になります。生ごみは含水率60％以下にならないと燃えません。省エネが求められています。自分で生ごみを堆肥（たいひ）にすれば、焼却するよりも使用するエネルギーはずっと減らすことができます。

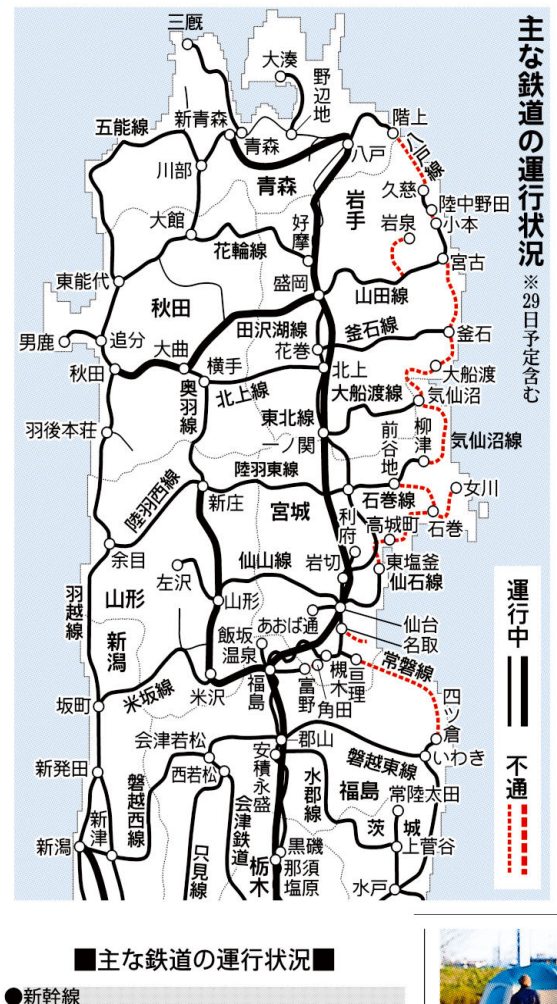
例えばスイカの皮を細かく切って、庭の土と混ぜ、天気の良いときは日当たりの良いところに置いておけば、1週間もしないうちに分解されて堆肥となります。トイレの処理に困っている場合も同じです。大便と2～3倍の量の土を混ぜた上で新聞紙などでくるみ、風通しを良くしておけば、堆肥になります。

【最上聡】

ミニニュース

■サービスエリアに被災地応援コーナー　東北道、常磐道のサービスエリア（SA）で大型連休中、風評被害などに悩む被災地の農産物や特産品をそろえた販売コーナーを設ける。東北道・安達太良SA（福島県）＝福島産の米や野菜、菓子の販売コーナー設置▽同・長者原SA（宮城県）＝地元産米を使った「海老かつ丼と稲庭うどん」を880円（通常は930円）で提供――など（いずれも5月8日まで）。詳しくはNEXCO東日本ホームページ（http://www.driveplaza.com/maps/）。

■千葉の30社が就職支援　政経倶楽部連合会千葉県支部は5月4日12～16時、被災者の就職支援のため、仙台国際ホテル（仙台市青葉区）で合同企業説明会を開く。千葉県内の企業約30社が参加。計100人を採用する予定で、求人ブースや就職相談コーナーを設置する。服装は自由で、入場無料。岩手県大船渡市から会場までの送迎バスも運行する。事務局☎050・3786・2960。



■主な国内線の運航状況■

29日の運航予定は次の通り。

＜花巻空港＞
羽田便＝2往復▽伊丹便＝4往復。ともに日本航空

＜仙台空港＞
伊丹便＝日本航空3往復、全日空2往復▽新千歳便＝日本航空、全日空、北海道国際航空が各1往復▽中部便＝全日空1往復

＜山形空港＞
羽田便＝日本航空2往復▽伊丹便＝日本航空4往復、全日空2往復▽新千歳便＝日本航空、北海道国際航空ともに2往復▽中部便＝全日空1往復

＜福島空港＞
新千歳便＝2往復▽伊丹便＝5往復。ともに全日空

■主なバスの運行状況■

＜岩手県北バス＞☎019・654・5814
盛岡―郡山、盛岡―福島などで運行

＜岩手県交通＞☎019・654・7755
盛岡と大槌、大船渡、陸前高田を結ぶ長距離バスなどを運行

＜ミヤコーバス＞☎022・771・5310
仙台―気仙沼、仙台―石巻などを運行

＜仙南交通＞☎022・242・1234
仙台空港―ＪＲ仙台駅前で直行バス運行

＜仙台空港鉄道＞☎022・707・2235
仙台空港―ＪＲ名取駅で代行バスを運行

＜福島交通＞☎024・531・2706（福島支社）
☎024・943・1651（郡山支社）
高速バスは全路線で復旧

義援金の主な受付窓口

※ゆうちょ銀行（郵便局）の窓口での通常払い込みは手数料無料。他の銀行の本支店間の窓口振り込みも手数料無料。

●政府
・三菱東京ＵＦＪ銀行東京営業部
普通0322313
・三井住友銀行東京公務部
普通0167524
・みずほ銀行虎ノ門支店
普通4130160
・ゆうちょ銀行　00130・6・623461
口座名はいずれも「東日本大震災義援金政府窓口」

●日本赤十字社
・ゆうちょ銀行　00140・8・507
「日本赤十字社　東日本大震災義援金」
※三井住友、三菱東京ＵＦＪ、みずほの各銀行でも受け付け

●中央共同募金会
・ゆうちょ銀行　00170・6・518
「中央共同募金会　東日本大震災義援金」
※りそな、三菱東京ＵＦＪ、三井住友の各銀行などでも受け付け

■主な鉄道の運行状況■

●新幹線
※東北新幹線と秋田新幹線は29日、仙台―一ノ関が再開し、全線開通
＜山形新幹線＞全線（東京―新庄）で運行

●ＪＲ在来線
※気仙沼線は29日、前谷地―柳津で再開
＜東北線＞全区間で運行
＜仙石線＞東塩釜―高城町は5月下旬再開予定
＜石巻線＞前谷地―石巻は5月中旬再開予定

●その他
※仙台市地下鉄は29日、泉中央―台原が再開し全線開通
＜三陸鉄道北リアス線＞宮古―小本、陸中野田―久慈で運行
＜阿武隈急行＞槻木―角田と富野―福島で運行

名古屋市から到着し翌日の活動に備えてテントを張るボランティア参加者ら＝宮城県石巻市の石巻専修大で28日午後5時57分、小林努撮影

新規ボランティアの募集 GW期間 中止相次ぐ

ゴールデンウイーク（GW）中は被災地へ、県外から多数のボランティアが入り、支援作業を行う見通しだ。このため、ボランティアを受け入れている被災地の災害ボランティアセンター（VC）では、期間中の新規受け付けを中止するケースが相次いでいる。多数の申し込みを受けて、宿泊場所や派遣手段の確保ができないほか、交通渋滞の原因にもなりかねないためだ。多くのVCが「ボランティア休暇などを利用してゴールデンウイーク後に来てほしい」（宮城県石巻市VC）と呼びかけている。

連日1000人以上のボランティアを受け入れてきた石巻市VCや気仙沼市VCなどが27、28日、相次いで受け入れ中止を決め、サイトなどで公表した。宮城県岩沼市VCや岩手県遠野市VCは、ゴールデンウイーク中も県外からの個人参加を受け入れる予定だが、「VCなどに待機のままになる可能性もある」という。

被災地で活動拠点を確保している団体の中には、ゴールデンウイーク中の活動を受け入れている場合もある。石巻市で活動する国際交流NGO「ピースボート」（東京都）は新宿発着のバスで移動し、5月2～6日の日程で活動する短期ボランティアを募集している。希望者は、30日に渋谷区内で行う説明会（14時～）への参加が必要で定員の残りは約40人分。申し込みは同NGO（03・3363・7967、10～19時）。【山田泰蔵】

■ボランティアを希望する人は

まず基本的な情報を調べ、自分で何ができるか考えよう。

●全国社会福祉協議会被災地支援・災害ボランティア情報（www.saigaivc.com/）　VC一覧のほか、基本的な心構えをまとめている

●助けあいジャパン（tasukeaijapan.jp/）
ボランティアの募集・登録情報を種別、地域別などで掲載

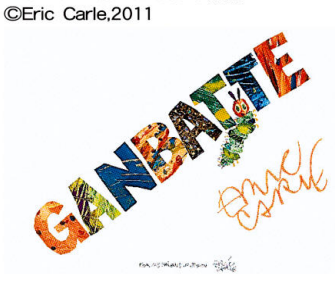
●Yahoo！ボランティア（volunteer.yahoo.co.jp/）　支援活動中の団体などをまとめたほか、震災関連のイベントや募集の検索も

●東日本大震災支援全国ネットワーク（www.jpn-civil.net/）　全国のＮＰＯ、ＮＧＯなどが多数参加するネットワーク。初心者向け資料やＶＣの設置状況の地図など

世界の絵本作家がエール

チャリティー展

来月9日まで東京・銀座



エリック・カールさんの作品
©Eric Carle,2011

世界的な絵本作家が被災地にエールを送るために描いた絵画などを販売し、収益を義援金に充てる「子どもたちに笑顔を！　世界の絵本作家チャリティー展」が5月9日まで、東京・銀座の松屋銀座8階大催場で開かれている。「リサとガスパール」のアン・グットマン&ゲオルグ・ハレンスレーベン夫妻や、「ミッフィー」シリーズのディック・ブルーナさんら国内外の絵本作家約40人が参加している。

先に同所での開催が決まっていた「島田ゆか&ユリア・ヴォリ絵本原画展」（有料）の企画会社などが、震災発生を受けて急きょ催した。

「リサとガスパール」が登場する絵には「勇気を出して！」などのセリフが寄せられている。ブルーナさんは、ミッフィーに涙を浮かべさせることで被災地への思いを込めた。

「はらぺこあおむし」で知られるエリック・カールさんは「GANBATTE」と描くなど、温かいメッセージにあふれている。国内からも、やなせたかしさんや黒井健さん、酒井駒子さんらが出品している。

絵画は入札方式で、会期中、最高額を提示した人に販売する。作品をもとにしたTシャツなど関連グッズも作られ、収益金（原価を除く全額）が義援金となる。

入場無料。問い合わせは松屋銀座☎03・3567・1211。